

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第4回定例会)

質問順位	4 11番議員 大山勝代	
質問事項1	保護者の教育費負担の軽減について	
質問の要旨	<p>日本は「失われた30年」と言われ、経済とともに教育についても見直しをする時期に来ている。日本国憲法には「義務教育はこれを無償とする」(第26条第2項後段)とある。しかし、保護者の義務教育における学校費用負担が増加している。就学困難な家庭の子どもだけでなく誰もが安心して教育を受けられるように無償への接近が肝心だと考える。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 9月議会の私の一般質問で、「学校費用の支援拡充ができないか検討したい」と教育長は回答されている。どういう検討がなされたのかを示せ</p> <p>(2) 「教育費は無償とする」の観点から本来公費で負担すべき教材費等は何があるか</p> <p>(3) 一斉共同購入と学校備え付け備品についての区別を示せ</p> <p>(4) 町から学校への教育予算の増額は考えられないか</p> <p>(5) 改めて給食費無償化の見解を示せ</p> <p>(6) 高額な制服や、ランドセルなどの「お譲り会」の企画等は考えられないか</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第4回定例会)

質問順位	4 11番議員 大山勝代	
質問事項2	令和7年度からの加齢性難聴者の補聴器購入助成制度について	
質問の要旨	<p>基山町は加齢性難聴者への補聴器助成制度が佐賀県下で初めて実現する。しかし、全国的には助成内容に大きな隔りがある。基山町の助成が後に続く他自治体の助成の充実につながる。利用者にとって納得のいく助成内容であってほしいと考える。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) これまで担当課で検討されてきた助成内容の概要を示せ ア 対象年齢について イ 助成金額について ウ 所得要件について	町長
	(2) 70才と75才だけでなく特定検診の項目に聞こえの検査を組み入れることはできないか	町長
	(3) これまでの検査で、中等度の難聴者数をどのように把握しているか	町長
	(4) 医療機関への受診勧奨はどう図られているか	町長
	(5) 補聴器装着後のフォローはどう行われているのか	町長
	(6) 助成手続きの簡素化をどう進めるか	町長